

J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

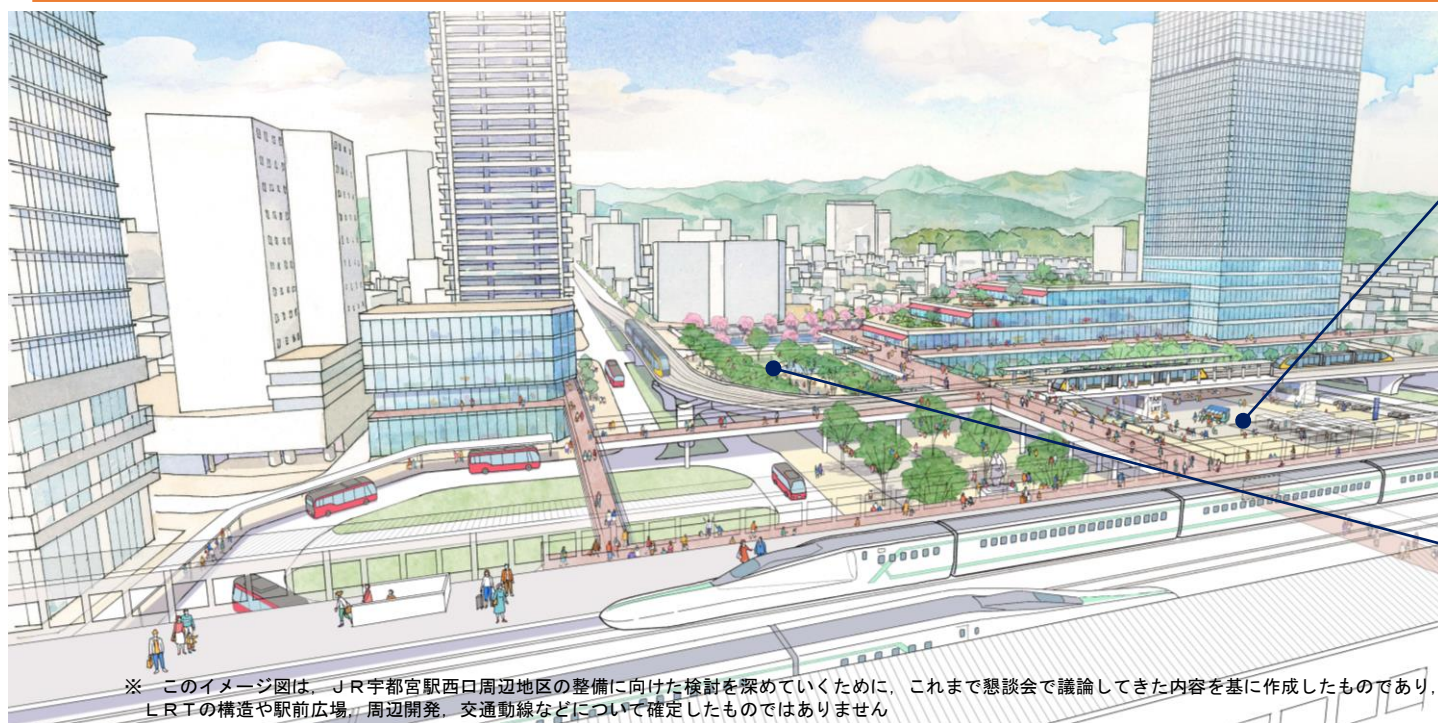
J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージを作成

～まちなかと駅をつなぐ、人と各交通モードが共存した人中心のウォーカブルな空間～

J R宇都宮駅西口周辺地区においては、県都の玄関口にふさわしい風格と本市ならではの魅力あふれる空間を創出するため「(仮称) J R宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会」などにおいて幅広く意見を伺いながら検討を進めております。

この度、まちづくりに携わる関係者と将来像の共有を図り、丁寧に意見交換を重ねながら官民一体となったまちづくりを、より一層推進していくため、将来像を可視化した「イメージ図」【別紙参照】を作成しました。

※ L R T の構造や駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません



ライトライン、鉄道、バス、タクシーなどの各交通モードの利用者が行き交う新たな駅前の顔となる空間



まちなかと駅を結ぶ周辺民間街区と一体となった緑あふれる人中心の居心地の良い空間

※ このイメージ図は、J R宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくために、これまで懇談会で議論してきた内容を基に作成したものであり、L R T の構造や駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません

J R 宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

1 作成にあたっての前提条件

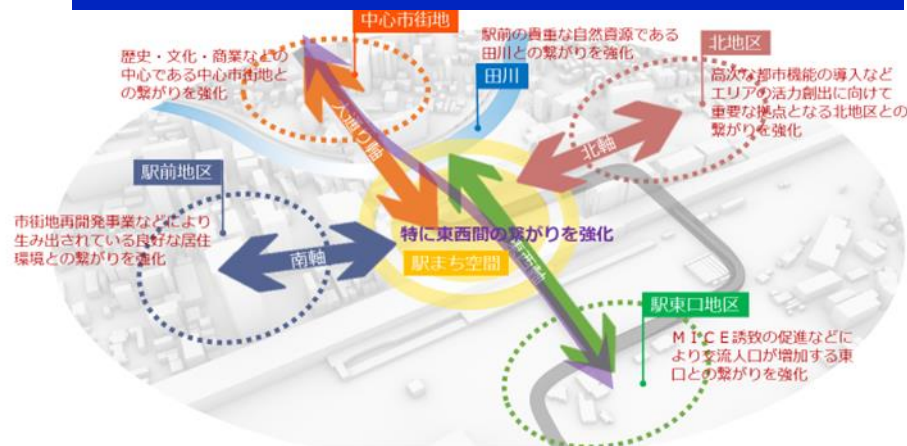
(1) 想定年次

駅前広場と周辺民間街区が一体となった将来像を描くことから、期間に幅を持たせて「NCC形成ビジョン」が見通す2050年頃とします。

(2) 空間配置とコンセプト

車中心から人中心の空間配置など、将来像である「県都の玄関口にふさわしい風格とにぎわい溢れる「交通」と「まち・水・緑」が調和した人中心の居心地の良い空間」を表現

構造イメージ(駅まち空間を中心とした4つの軸)



将来の歩行者動線・自動車動線イメージ



※ 第2回(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会資料抜粋

(3) イメージ図の取り扱い

この将来イメージ図については、JR宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくため、これまで懇談会などにおいて議論してきた内容を基に作成したものであります。

駅前広場や周辺開発、交通動線などについては、現時点において確定したものではありません。

J R 宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

2 将来イメージ図の特徴

これまでの懇談会で示してきた人中心の駅まち空間形成に向けた「にぎわいと憩いの空間」を創出

民間開発と連携した広場空間の創出

【東西軸と大通り軸が混ざり合うエリア】

- 駅から都心部へと人々をいざなう歩行者動線
- 地上部を重視した樹木や芝生など緑の空間
- 緑豊かな空間に子育て世帯や高齢者などが集う（地域住民が集まる日常的な賑わい空間）

大通り軸

【田川など自然と親しむエリア】

- 低層棟を活用した田川を見渡せるテラス・屋上空間
- 日光連山など遠景の山並みを眺める視点場
- 人目を気にせず、ゆったりと過ごすことのできる空間

A 街区・トナリエ等
（再開発検討街区）

にぎわいと
憩いの空間

北軸

ライトライン
停留場

タクシー
一般車

南軸

バス

E 街区

B 街区

C 街区

東西軸

【交通結節点の中心・来街者を引き付けるエリア】

- 各交通モードの利用者が混ざり合う空間
- 乗換え、待ち合わせ、休憩、飲食など多様な目的を受け止める空間
- イベントなどの賑わいや新たな出会いのある空間（非日常的な賑わい空間、新たな出会いと発見）



宇都宮駅



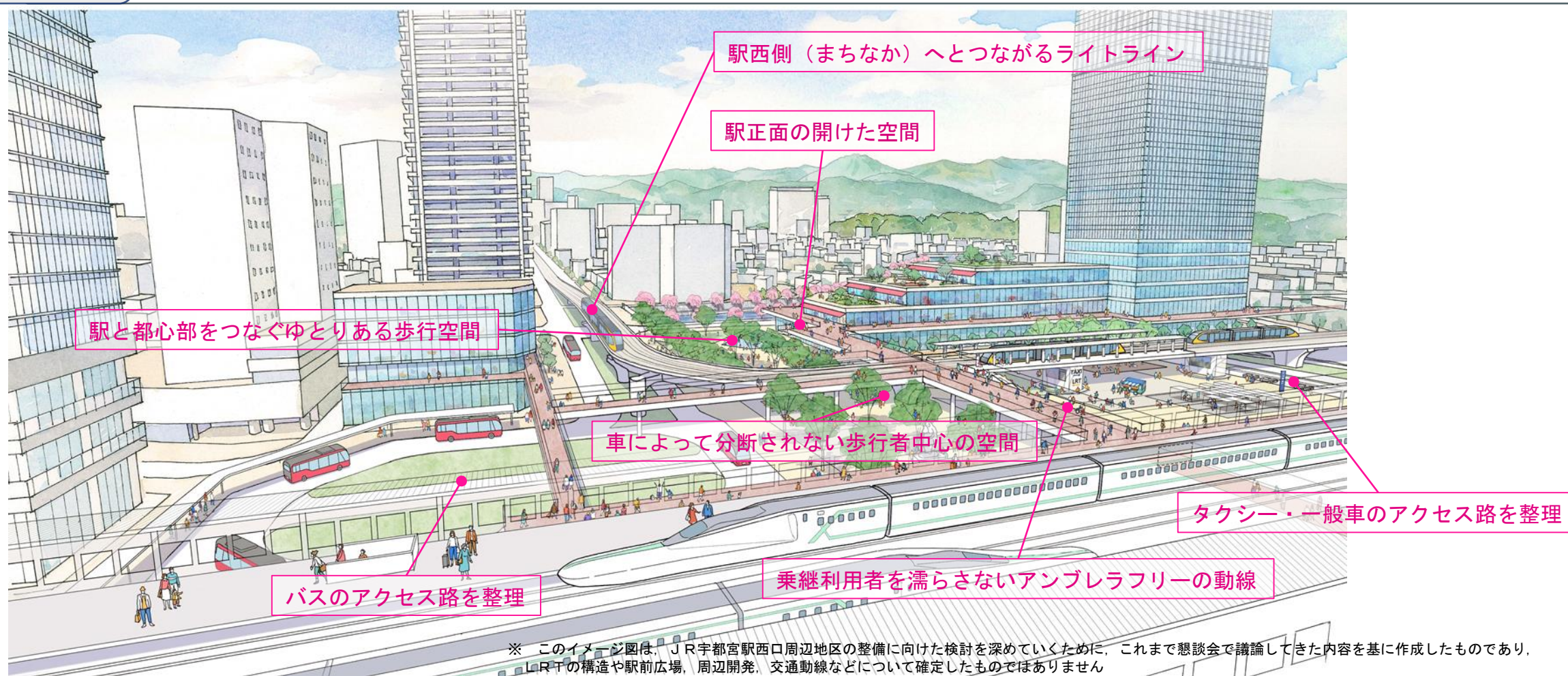
J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

3 将来イメージ図の説明

① J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ（駅舎上空から駅前広場の鳥瞰パース）

コンセプト

まちなかと駅をつなぐ、人とライトラインやバス、タクシーなど各交通モードと共存した人中心のウォーカブルな空間イメージ



※ このイメージ図は、J R宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくために、これまで懇談会で議論してきた内容を基に作成したものであり、J Rの構造や駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません

J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

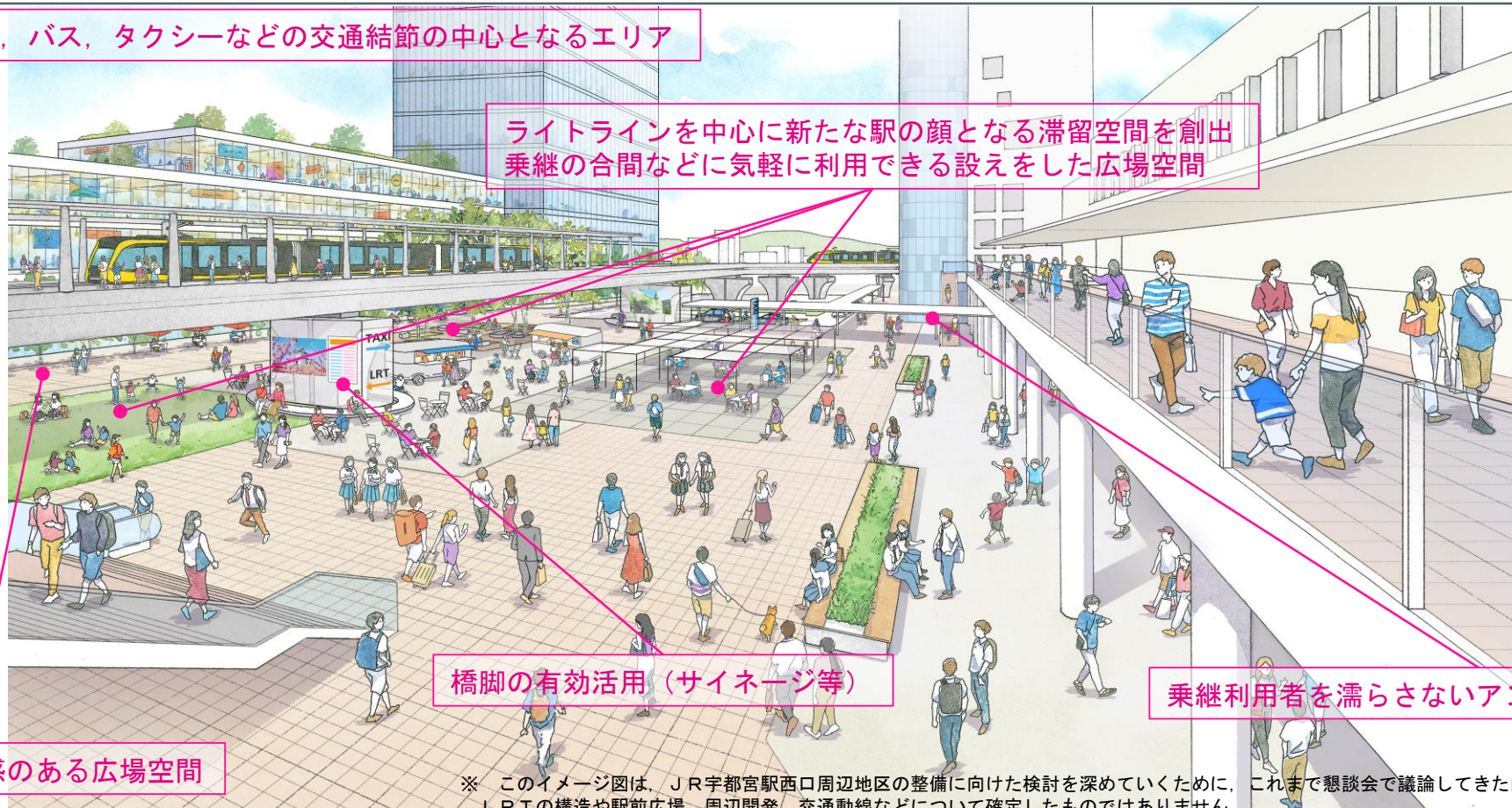
3 将来イメージ図の説明

② 2階 東西自由通路出入口付近より北方向（アイレベル）

コンセプト ライトライン、鉄道、バス、タクシーなどの各交通モードの利用者が行き交う新たな駅前の顔となる空間イメージ

空間を利用している様子 乗り継ぎの合間に休憩や飲食など気軽に来訪者が空間を利用したり、多彩なイベントの開催など非日常的な賑わい空間として利用している

ライトライン、鉄道、バス、タクシーなどの交通結節の中心となるエリア



ライトラインを中心に新たな駅の顔となる滞留空間を創出
乗継の合間などに気軽に利用できる設えをした広場空間

橋脚の有効活用（サイネージ等）

乗継利用者を濡らさないアンブレラフリーの動線

隣接する建物と一体感のある広場空間

※ このイメージ図は、J R宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくために、これまで懇談会で議論してきた内容を基に作成したものであり、L R Tの構造や駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません

J R 宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

3 将来イメージ図の説明

③ 1階 田川側から駅舎方向（アイレベル）

コンセプト まちなかと駅をつなぐ周辺民間街区と一体となった緑あふれる人中心の居心地の良い空間イメージ

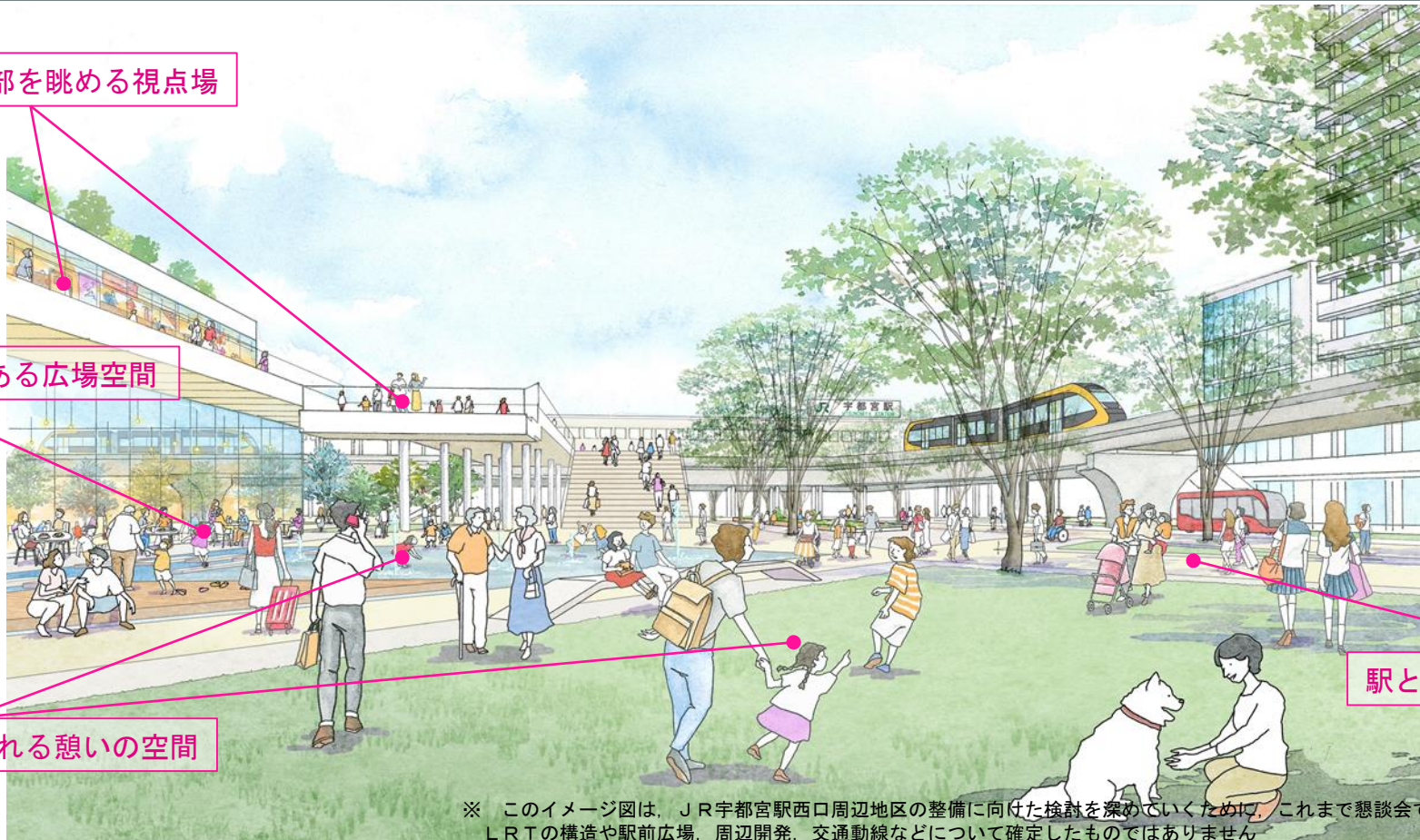
空間を利用している様子 働く人や学ぶ人など多くの人が身近な水辺や緑を感じながら楽しく歩いたり、子育て世代や高齢者など幅広い世代が集い利用している

田川や都心部を眺める視点場

隣接する建物と一体感のある広場空間

水辺空間や緑があふれる憩いの空間

駅と都心部を繋ぐ歩行者空間



※ このイメージ図は、J R 宇都宮駅西口周辺地区の整備に向けた検討を深めていくために、これまで懇談会で議論してきた内容を基に作成したものであり、L R T の構造や駅前広場、周辺開発、交通動線などについて確定したものではありません

J R宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ図について

4 将来イメージ図の活用

- 第3回（仮称）J R宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会において、駅西口周辺地区の将来イメージを共有し、今後の空間形成の検討（駅前に導入するまちの機能や施設配置など）の深度化を図ってまいります。
- オープンスクエアやまちづくりに関する勉強会などにおいて活用しながら、まちづくりに対する機運醸成や、市民理解の促進につなげてまいります。



▲第2回（仮称）J R宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会
（令和6年5月9日）



▲オープンスクエアにおける
「ライトライン体験会・意見交換会」